

送 辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々に柔らかな春の日差しと心地よいそよ風が感じられる季節となりました。この晴れやかな良き日に、晴れて卒業される卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

二年前、真新しいスーツに身を包み入学式を迎えられた先輩方は、新しい生活への期待や不安、そして志す目標への希望を胸にその一步を踏み出されました。それからの二年間、先輩方がこの学校で過ごされてきた時間の中で、十人十色の思い出を築き上げてこられたことと思います。

私たちが入学してから間もなく迎えた水上でのオリエンテーションでは、バスの中でのレクリエーションや担任会でのゲームなどを企画し私たちを楽しませてくださいました。先輩方から教えていただいた手遊びや、幼稚園などを題材としたクラスごとのスタンプを通して作新短大で学ぶことや将来の夢への意志がますます強くなりました。入学当初は何もわからず不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方が私たちを暖かく迎えてくださったことで、これからの学校生活への期待が膨らみました。

その後も七夕祭りやスポーツ大会、ハロウィンパーティー、クリスマス会といった様々な行事や学友会、サークル活動を通して、先輩方の強い団結力や豊かな知識から多くのことを学ばせて頂きました。そして、何よりもどの行事でも笑顔で活動される姿がとても強く印象的に残っています。普段の学校生活の中では、私たちに声を掛けて下さり、テストや実習の前はアドバイスや応援をして下さるなど、非常に心強い存在でした。

明日から先輩方はこの二年間の思い出が詰まった学舎を旅立たれ、それぞれの道を歩んで行かれることと思います。活躍される場は違えども、この二年間作新短大で学んだことは先輩方の礎となっていることと思います。この先長い人生の中で辛いことに立ち向かわなければならない時が来るかもしれません。その時はここで過ごした日々、共に笑いあった友人、支えてくださった先生方、そして私たちのことを思い出し、自分を信じて前向きに頑張ってください。私たち在校生もこの作新短大の名に恥じぬよう、そして先輩方の後に続けるよう精一杯の努力を重ねていきたいと思っています。それが後に残る私たちにできる先輩方への唯一の恩返しだと思っています。

最後となりますが、先輩方皆様のご多幸と益々のご活躍を心からお祈りし、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和二年三月十五日 作新学院大学女子短期大学部
在学生代表 戸田成美

